

# 事業の概況

## 経営環境と業績

### 1. 金融経済環境

2021年度上期のわが国経済は、海外経済の回復を背景とした輸出の増加や設備投資の持ち直しがみられたものの、新型コロナウイルス感染症の影響により個人消費は力強さを欠き、全体として足踏み状態が続きました。当行の主要な営業基盤である長野県経済においても、製造業を中心に持ち直しの動きがあるものの一部に弱さがみられました。生産面では、世界的なIT需要の高まりなどから半導体関連を中心に輸出や設備投資が増加しました。個人消費では、大型小売店売上高は肉食需要の増加に伴い食料品が堅調を維持しましたが、自動車販売は半導体不足による納車遅れの影響もあり後半に弱さがみられました。

金融面においては、10年物国債利回りは期初0.122%からスタートし、期中は概ね0.1%以下の水準で推移し、期末は0.081%で着地しました。一方、2万9千円台からスタートした日経平均株価は、世界的な金融緩和や財政政策をベースに堅調に推移し、期末も同水準で着地しました。

### 2. 連結決算の概況

(財政状態)

貸出金は、財務省向け及び個人・法人向け資金の増加により前連結会計年度末比1,727億円増加して5兆7,139億円となりました。

有価証券は、国債等の減少により前連結会計年度末比1,711億円減少して3兆1,551億円となりました。

預金は、個人及び法人預金の増加により前連結会計年度末比933億円増加して7兆7,476億円となりました。

(経営成績)

当中間連結会計期間の経常収益は、有価証券利息配当金及び国債等債券売却益の減少を主因に前年同期比18億1百万円減少し744億5千5百万円となりました。経常費用は、与信関係費用及び資金調達費用の減少を主因に前年同期比123億3千1百万円減少し523億1千4百万円となりました。

この結果、経常利益は前年同期比105億2千9百万円増加し221億4千1百万円となり、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比72億6千9百万円増加し154億3千3百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### ①銀行業

当行単体の増益を主因に、セグメント利益（経常利益）は前年同期比99億1千1百万円増加して201億6千8百万円となりました。

#### ②リース業

与信関係費用の減少を主因に、セグメント利益（経常利益）は前年同期比4億3百万円増加して11億1百万円となりました。

なお、報告セグメントに含まれない「その他」につきましては、前年同期比2億7百万円増加して8億9千2百万円のセグメント利益（経常利益）となりました。

(キャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、コールマネーが増加したことなどにより8,878億4千2百万円の流入（前年同期は6,759億3百万円の流入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の売却及び償還による収入が取得による支出を上回ったことなどにより1,921億6千万円の流入（前年同期は703億1千1百万円の流出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払などにより39億2千3百万円の流出（前年同期は43億5百万円の流出）となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前年同期と比べ1兆5,686億9千8百万円増加して3兆7,984億9千2百万円となりました。

### 3. 単体決算の概況

(財政状態)

貸出金は、期中1,718億円増加し中間期末残高は5兆7,594億円となりました。

有価証券は、期中1,711億円減少し中間期末残高は3兆1,627億円となりました。

預金は、期中944億円増加し中間期末残高は7兆7,652億円となりました。

(経営成績)

当中間会計期間の経常収益は、前年同期比19億2千6百万円減少し543億3千7百万円、経常費用は前年同期比111億1百万円減少し358億1千4百万円となりました。この結果、経常利益は185億2千2百万円となりました。経常利益は、貸倒引当金が取崩しとなり貸倒引当戻入益を計上したこと及び営業経費が減少したことなどから前年同期比91億7千5百万円増加しました。

これらの結果、中間純利益は前年同期比64億1千4百万円増加し131億2千8百万円となりました。

### 4. 自己資本比率

総自己資本比率（国際統一基準）は、連結ベースで20.39%、単体ベースで19.05%となりました。2021年3月期比では連結ベースで0.30ポイント、単体ベースで0.25ポイント低下したものの、引き続き高い水準を維持しております。

# 主要な経営指標の推移

## 1. 連結決算

	2019年9月期	2020年9月期	2021年9月期	2020年3月期	2021年3月期
連結経常収益 (単位:百万円)	83,169	76,257	74,455	163,637	152,604
連結経常利益 (単位:百万円)	19,085	11,612	22,141	33,447	32,147
親会社株主に帰属する 中間純利益 (単位:百万円)	12,995	8,163	15,433	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益 (単位:百万円)	—	—	—	22,077	22,384
連結中間包括利益 (単位:百万円)	34,587	65,297	23,032	—	—
連結包括利益 (単位:百万円)	—	—	—	△6,134	168,446
連結純資産額 (単位:億円)	7,951	8,094	9,285	7,484	9,096
連結総資産額 (単位:億円)	107,306	113,251	132,297	104,705	121,606
連結総自己資本比率 (国際統一基準) (単位:%)	20.71	20.54	20.39	18.94	20.69
連結Tier1比率 (国際統一基準) (単位:%)	20.71	20.54	20.39	18.94	20.69
連結普通株式等Tier1比率 (国際統一基準) (単位:%)	20.71	20.54	20.39	18.94	20.69

(注)「中間連結財務諸表 注記事項(表示方法の変更)」に記載の計数の組替えを全期間にわたり行っております。

## 2. 単体決算

	2019年9月期	2020年9月期	2021年9月期	2020年3月期	2021年3月期
経常収益 (単位:百万円)	63,757	56,263	54,337	123,004	111,588
経常利益 (単位:百万円)	16,806	9,346	18,522	28,021	26,152
中間純利益 (単位:百万円)	12,035	6,714	13,128	—	—
当期純利益 (単位:百万円)	—	—	—	19,562	18,517
資本金 (単位:億円)	522	522	522	522	522
発行済株式総数 (単位:千株)	511,103	511,103	511,103	511,103	511,103
純資産額 (単位:億円)	7,366	7,508	8,501	6,915	8,328
総資産額 (単位:億円)	106,726	112,688	131,471	104,132	120,750
預金残高 (単位:億円)	67,386	73,055	77,652	69,891	76,707
貸出金残高 (単位:億円)	53,725	55,652	57,594	54,439	55,875
有価証券残高 (単位:億円)	29,473	30,382	31,627	29,204	33,338
総自己資本比率 (国際統一基準) (単位:%)	19.85	19.09	19.05	17.59	19.30
Tier1比率 (国際統一基準) (単位:%)	19.85	19.09	19.05	17.59	19.30
普通株式等Tier1比率 (国際統一基準) (単位:%)	19.85	19.09	19.05	17.59	19.30
従業員数 [平均臨時従業員数] (単位:人)	3,141 [1,216]	3,157 [1,135]	3,068 [1,070]	3,070 [1,186]	3,089 [1,120]

(注) 1. 従業員数は、就業人員数を記載しております。なお、[ ]内は、平均臨時従業員数を外書きしております。  
2. 「中間財務諸表 注記事項(表示方法の変更)」に記載の計数の組替えを全期間にわたり行っております。